

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年2月28日

北海道運輸局

評価対象事業名: 令和3年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小平町地域公共交通会議	てんてつバス株式会社	小平町デマンドバス 達布線 (滝下～小平)	消費税率改正に伴う運賃の見直しについて、利用者の利便性と費用負担の増を勘案し、本体価格の見直しにより運賃額の増額改定を見送り、利用促進を図った。	A	B	人口減少による利用者数の減少は今後も懸念されるが、令和2年度の国勢調査結果では、65歳以上の人口比率が40%を超え、高齢化に伴う運転免許証の返納などにより、今後も公共交通の必要性は高い地域と見込まれる。 幹線系統の接続のためのダイヤ改正など、住民ニーズの把握等も念頭におき利便性向上の取組を実施していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。</li> <li>目標を達成することができたが、新型コロナウイルス感染拡大を機に、利用実績・収入実績ともに減少傾向であることから、感染症拡大防止対策を行っていることの周知を継続的かつ効果的に実施するとともに、更なる利用促進の取組を期待する。</li> <li>持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。</li> <li>今後も継続的に実施していくためにも、地域公共交通計画を策定することを強く期待する。</li> </ul>	